

令和3年度 我が校の学ぶ力向上策(実施計画)

【市町 目標】

○学校教育令和の四改革「マネジメント改革」
 教科マネジメントやカリキュラム・マネジメントを通して、指導と評価の一体化をめざした授業づくりを行い、子どもの学ぶ力を向上させる。

【学校 目標】

○「協働学習を通して主体的に学ぶ子の育成」
 ～体育科を通して子どもが解決したいと思う課題設定を通して～

【現状と課題】

○視点1 どの学年においても学習意欲に個人差が見られ、学習内容の理解度についても同様のことが言える。
 ○視点2 望ましい生活習慣や学習習慣の定着が全体的に弱い。
 ○視点3 子どもたちの個別の課題が多様であることから、学習指導や生活指導において、担任だけではなく、組織での相談や対応が必要になる場合が多い。

取 組		
視点1	視点2	視点3
学びを実感できる授業づくり	学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり	子どものために一丸となって取り組む学校づくり
<p>【取組事項】</p> <p>○「老西スタイル」(毎時間の授業の流れ:問題提示→気付き・見通し→一人で考える→共学び→一人で考える→振り返り)が定着するように、課題設定や学習計画づくりを行い、学習意欲を喚起する。 ○技能の習得や知識の理解よりも、教科の特性や良さに触れる学習づくりを行い、学ぶ楽しさを味わわせる。</p>	<p>【取組事項】</p> <p>○本校で取り組んできた子どもが主体の協働学習「共学び」をより深化させ、子ども同士が様々なツールや方法で、考えを表現していく学習の場を作る。 ○ICT機器を活用しながら学習環境のユニバーサルデザイン化を行い、どの子ども学習の流れを理解して、表現ができる環境を整える。</p>	<p>【取組事項】</p> <p>○レディネス問題やアンケートによる子どもの実態把握を行い、その結果を学習計画に反映させる。 ○学習前後の子どもの変化を複数の教員で見取り、情報交換を行うことで、情報の客観性を高める。</p>
その他 取組事項		

取組の評価

※プランに示した数値目標は、県教育委員会の取組の指標です。学校の評価指標は、それぞれの課題等の状況に応じて設定することが重要です。

	取組事項	評価指標	1回目評価	2回目評価
全体		児童アンケートによる「学ぶことが楽しい」の肯定率が80%以上になる。	A	
視点1	○「老西スタイル」(毎時間の授業の流れ:問題提示→気付き・見通し→一人で考える→共学び→一人で考える→振り返り)の定着	①児童アンケートによる「自分から学ぶことができている」の肯定率が70%以上になる。	A	
視点2	○子どもが主体の協働学習「共学び」の定着	②児童アンケートによる「相談して考えを深めることができた」の肯定率が70%以上になる。	A	
視点3	○子どもの実態把握を学習計画に反映	③児童アンケートによる「学習前に比べて、よく分かるようになった」の強い肯定率が60%以上になる。	B	
その他				

評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

今年度の取組の課題

--